

坂本龍一さん
追悼ロードショー決定



Merry Christmas
Mr. Lawrence

戦場のメリークリスマス | 4K修復版 |

デヴィッド・ボウイ トム・コンティ 坂本龍一 ビートたけし ジャック・トンブソン ジョニー大倉 内田裕也

監督・脚本:大島渚 脚本:ポール・マイヤーズバーグ 原作:サー・ローレンス・ヴァン・デル・ポスト「影の獄にて」 製作:ジェレミー・トーマス 撮影:成島東一郎 音楽:坂本龍一

美術:戸田重昌 協力:大島渚プロダクション 配給:アンブレラ 1983年|日本=イギリス=ニュージーランド|英語・日本語|123分|ヒスタサイズ|ステレオ ©大島渚プロダクション unpfilm.com/senmeri2023

2023年3月28日に亡くなられた坂本龍一さん。

世界で愛される名曲「Merry Christmas Mr.Lawrence」

そして俳優としても存在感を示すその姿を脳裏に焼き付けたい。

若き日の功績を偲び、期間限定で追悼上映を行います。



第37回英国アカデミー賞 作曲賞 受賞

第38回毎日映画コンクール 日本映画大賞・監督賞・脚本賞・男優助演賞・音楽賞 受賞

デヴィッド・ボウイ × 坂本龍一 × ビートたけし

第36回カンヌ国際映画祭で、そのテーマを巡って大きな話題を巻き起こした本作は、デヴィッド・ボウイ、坂本龍一、ビートたけし、内田裕也などの本業が俳優ではない個性的なキャスティングで原作者の日本軍俘虜収容所での体験を描いた、戦闘シーンが一切登場しない異色の“戦争”映画。俘虜となるジャック・セリアズ少佐を演じたデヴィッド・ボウイの美しさと存在感が随所で際立ち、坂本龍一扮するヨノイ大尉が次第にセリアズに惹かれていく様が描かれる。東洋と西洋の文化の対立と融合という複雑なテーマゆえに企画は難航し、製作費は膨らんだ。しかしビートたけしがラジオ「オールナイトニッポン」やテレビ「オレたちひょうきん族」などでネタにしたことで話題が独り歩きし、従来の映画プロモーションとは違う展開になったことも功を奏して、配給収入10億円の大ヒットに繋がった。本作で、初めて映画音楽を手掛けた坂本龍一によるテーマ曲「Merry Christmas Mr. Lawrence」は映画史上屈指の名曲として今なお愛され続けている。2021年上映時には、本作初鑑賞となる若く新しい世代が多く来場し、色褪せぬ強烈な魅力でふたたび〈戦メリ旋風〉を吹かせた。闘病と音楽活動を続けてきた坂本龍一さんが逝去されたため、期間限定で追悼上映を行うことが決定した。

2023

5.26 **FRI** 追悼ロードショー

料金:1,500円均一

JR「新宿駅」東口より徒歩5分

新宿ピカデリー

050(6861)3011 smt-cinema.com

有楽町イシア イシアプラザ4F

〒テアトルシネマグループ
ヒューマントラストシネマ有楽町

03(6259)8608 iteg.jp

吉祥寺PARCO地下

アップリンク吉祥寺

0422(66)5042 joji.uplink.co.jp